小平市障がい者福祉計画・第六期小平市障害福祉計画・第二期

小平市障害児福祉計画策定のための実態調査結果の概要

１　調査の概要

令和３年度から令和８年度を計画期間とする「小平市障がい者福祉計画」および、令和３年度から令和５年度を計画期間とする「第六期小平市障害福祉計画・第二期小平市障害児福祉計画」を令和２年度に策定するにあたり、計画策定に必要な基礎資料とするため、小平市内在住の障がいのある方々の日頃の生活状況や市の障がい施策に対する意見や要望等をおききするアンケート調査を実施しました。

２　調査の実施

（１）調査対象と方法

① 小平市内在住の身体障害者手帳、愛の手帳、精神障害者保健福祉手帳を所持している方、また、これらの手帳を所持せず、小平市心身障害者福祉手当を受給している難病等の方

調査方法

３，０００人を無作為抽出し、郵送にて配付及び回収をしました。

② 発達障がいの方

調査方法

対象者の把握が困難なため、障がい者支援課のほか、市内の公立小中学校・幼稚園・保育園・相談支援事業所・療育機関・健康センター・子ども家庭支援センターなどの関係機関等（約１００か所）を通じて配付し、郵送にて回収をしました。

（２）調査期間

令和元年１０月２９日（火）～１１月２５日（月）まで

（３）回収状況

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 種類 | 配付数 | 回収数 | 回収率 |
| ① | 身体障がい者 | 1,628 | 819 | 50.3% |
| ② | 知的障がい者 | 464 | 218 | 47.1% |
| ③ | 精神障がい者 | 613 | 265 | 43.2% |
| ④ | 難病等の方 | 296 | 143 | 48.0% |
| 合計 | | 3,000 | 1,444 | 48.1% |
| ⑤ | 発達障がいの方 | ― | 66 | ― |

４　調査結果の概要（抜粋）

※「身体」は身体障がい者、「知的」は知的障がい者、「精神」は精神障がい者、

「難病」は難病等の方、「発達」は発達障がいの方を示しています。

### ①暮らし方（身体・知的・精神・難病・発達）P.24

全ての障がい者の方に、暮らし方をたずねたところ、「家族・親族と一緒に暮らしている」が身体障がい者で74.2％、知的障がい者で77.5％、精神障がい者で63.8％、難病等の方で86.6％、発達障がいの方で95.5%と、すべての対象者でもっとも高くなっています。

また、「ひとりで暮らしている」が精神障がい者で27.2%、身体障がい者では17.8%となっています。

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 項目 | 身体  障がい者  n=819 | | 知的  障がい者  n=218 | | 精神  障がい者  n=265 | | 難病等の方  n=142 | | 発達障がい  の方  n=66 | |
| 人数 | ％ | 人数 | ％ | 人数 | ％ | 人数 | ％ | 人数 | ％ |
| ひとりで暮らしている | 146 | 17.8 | 13 | 6.0 | 72 | 27.2 | 17 | 12.0 | 1 | 1.5 |
| 家族・親族と一緒に暮らしている | 608 | 74.2 | 169 | 77.5 | 169 | 63.8 | 123 | 86.6 | 63 | 95.5 |
| 友達など知り合いと一緒に暮らしている | 2 | 0.2 | 0 | 0.0 | 2 | 0.8 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| グループホームで暮らしている | 3 | 0.4 | 18 | 8.3 | 4 | 1.5 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 障がい者施設で暮らしている | 2 | 0.2 | 3 | 1.4 | 2 | 0.8 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 介護保険（高齢者）施設で暮らしている | 9 | 1.1 | 0 | 0.0 | 2 | 0.8 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 入院している | 10 | 1.2 | 0 | 0.0 | 3 | 1.1 | 0 | 0.0 | 1 | 1.5 |
| その他 | 18 | 2.2 | 0 | 0.0 | 6 | 2.3 | 2 | 1.4 | 0 | 0.0 |
| 無回答 | 21 | 2.6 | 15 | 6.9 | 5 | 1.9 | 0 | 0.0 | 1 | 1.5 |

② 同居している家族・親族 （身体・知的・精神・難病・発達）　P.27

「配偶者（夫または妻）」が身体障がい者では71.4％、難病等の方では75.6%ともっとも高く、「母」が知的障がい者では94.1％、精神障がい者では60.9%ともっとも高くなっています。また、発達障がいの方では「母」が100.0%となっています。

【集計結果：同居している家族・親族】

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 項目 | 身体  障がい者  n=608 | | 知的  障がい者  n=169 | | 精神  障がい者  n=169 | | 難病等の方  n=123 | | 発達障がい  の方  n=63 | |
| 人数 | ％ | 人数 | ％ | 人数 | ％ | 人数 | ％ | 人数 | ％ |
| 配偶者（夫または妻） | 434 | 71.4 | 0 | 0.0 | 52 | 30.8 | 93 | 75.6 | 0 | 0.0 |
| 父 | 76 | 12.5 | 137 | 81.1 | 74 | 43.8 | 22 | 17.9 | 57 | 90.5 |
| 母 | 116 | 19.1 | 159 | 94.1 | 103 | 60.9 | 28 | 22.8 | 63 | 100.0 |
| 子 | 224 | 36.8 | 1 | 0.6 | 37 | 21.9 | 62 | 50.4 | 0 | 0.0 |
| 子の配偶者 | 15 | 2.5 | 0 | 0.0 | 1 | 0.6 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 兄弟姉妹 | 60 | 9.9 | 95 | 56.2 | 40 | 23.7 | 9 | 7.3 | 39 | 61.9 |
| 祖父母 | 6 | 1.0 | 10 | 5.9 | 3 | 1.8 | 2 | 1.6 | 7 | 11.1 |
| その他の親族 | 19 | 3.1 | 6 | 3.6 | 3 | 1.8 | 2 | 1.6 | 0 | 0.0 |
| 無回答 | 6 | 1.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |

### ③ 必要とする支援（身体・知的・精神・難病）　P.38

「特に必要としていない」が身体障がい者では47.9%、難病等の方では75.4％ともっとも高くなっていますが、他方で知的障がい者では6.0%、精神障がい者では21.1%と約70ポイントの差がでています。

また、知的障がい者では「各種手続き（書類を書くなど）」が67.0%、精神障がい者では「相談（サービスや困りごとなどについて）」が34.3%ともっとも高くなっています。

他の回答として、知的障がい者では「金銭管理」が62.4％、「身の回りの掃除、洗濯、食事の用意」が51.8％、「外出」が49．1%と高くなっています。

【必要とする支援（対象別上位５回答）】

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 身体障がい者  n=819 | 知的障がい者  n=218 | 精神障がい者  n=265 | 難病等の方  n=142 |
| １ | 特に必要としていない  47.9％ | 各種手続き（書類を書くなど）  67.0％ | 相談（サービスや困りごとなどについて）  34.3％ | 特に必要としていない  75.4％ |
| ２ | 身の回りの掃除、洗濯、食事の用意  17.0％ | 金銭管理  62.4％ | 身の回りの掃除、洗濯、食事の用意  24.5％ | 相談（サービスや困りごとなどについて）  7.0％ |
| ３ | 外出  16.6％ | 身の回りの掃除、洗濯、食事の用意  51.8％ | 各種手続き（書類を書くなど）  23.8％ | 買い物  5.6％ |
| ４ | 買い物  15.9％ | 外出  49.1％ | コミュニケーション  21.5％ | 身の回りの掃除、洗濯、食事の用意／外出  4.9％ |
| ５ | 各種手続き（書類を書くなど）  12.8％ | コミュニケーション  48.2％ | 特に必要としていない  21.1％ |

④ ３年後の暮らし方（身体・知的・精神・難病）　P.42

「家族・親族と一緒に暮らしたい」が身体障がい者では62.6%。知的障がい者では56.4%、精神障がい者では47.2%、難病等の方では76.8%ともっとも高くなっています。また、知的障がい者では「グループホームで暮らしたい」が17.9％と高くなっています。

※「その他の暮らし方」には、「友達など知り合いと一緒に暮らしたい」、「グループホームで暮らしたい」、「障がい者施設で暮らしたい」、「介護保険（高齢者）施設で暮らしたい」、「その他」が含まれます。

### ⑤ 地域で生活するために必要なこと（身体・知的・精神・難病）　P.50

前問④『３年後の暮らし方』で「ひとりで暮らしたい」、「家族・親族と一緒に暮らしたい」、「友達など知り合いと一緒に暮らしたい」、「グループホームで暮らしたい」の“地域での暮らし”を希望された方に、地域での生活に必要なことをたずねたところ、身体障がい者と知的障がい者では「緊急時、災害時等の支援体制」がそれぞれ35.2%・56.5%ともっとも高く、精神障がい者では「経済的支援」が48.0％、難病等の方では「特に必要なことはない」が29.8％ともっとも高くなっています。

また、知的障がい者では「グループホームの整備」が48.0％、精神障がい者では「相談支援体制の充実」が46.5％と５割近くとなっています。

【地域で生活するために（対象別上位５回答）】

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 身体障がい者  n=819 | 知的障がい者  n=218 | 精神障がい者  n=265 | 難病等の方  n=142 |
| １ | 緊急時、災害時等の支援体制  35.2％ | 緊急時、災害時等の支援体制  56.5％ | 経済的支援  48.0％ | 特に必要なことはない  29.8％ |
| ２ | 情報提供  28.5％ | グループホームの整備  48.0％ | 相談支援体制の充実  46.5％ | 経済的支援  25.8％ |
| ３ | 身近な医療機関の確保  21.3％ | 相談支援体制の充実  43.5％ | 情報提供  33.0％ | 緊急時、災害時等の支援体制  23.4％ |
| ４ | 相談支援体制の充実  20.2％ | 経済的支援  39.0％ | 就労支援の充実  32.5％ | 情報提供  21.8％ |
| ５ | 経済的支援  19.4％ | 地域の理解  38.4％ | 身近な医療機関の確保  23.0％ | 身近な医療機関の確保  21.0％ |

⑥ 障がい理解や差別の解消　P.108

### 地域の理解を深めるために必要なこと（身体・知的・精神・難病・発達）

「学校での障がいに関する教育や情報の提供」が身体障がい者では28.0％、難病等の方では46.5％、発達障がいの方では72.7％ともっとも高くなっているほか、知的障がい者で44.5％、精神障がい者で33.2％とすべての対象者で2位以内に入っています。

知的障がい者では「障がい者の地域生活についての理解の促進」が45.4％、精神障がい者では「障がい者の一般企業への就労の促進」が37.7%ともっとも高くなっています。

また、「障がい者の一般企業への就労の促進」および「障がい者の地域生活についての理解の促進」は全ての対象者で3位以内に入っています。

【地域の理解を深めるために必要なこと（対象別上位５回答）】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 身体障がい者  n=819 | 知的障がい者  n=218 | 精神障がい者  n=265 | 難病等の方  n=142 | 発達障がいの方  n=66 |
| １ | 学校での障がいに関する教育や情報の提供  28.0％ | 障がい者の地域生活についての理解の促進  45.4％ | 障がい者の一般企業への就労の促進  37.7％ | 学校での障がいに関する教育や情報の提供  46.5％ | 学校での障がいに関する教育や情報の提供  72.7％ |
| ２ | 障がい者の一般企業への就労の促進  25.6％ | 学校での障がいに関する教育や情報の提供  44.5％ | 学校での障がいに関する教育や情報の提供  33.2％ | 障がい者の一般企業への就労の促進  33.8％ | 障がい者の一般企業への就労の促進  54.5％ |
| ３ | 障がい者の地域生活についての理解の促進  19.8％ | 障がい者の一般企業への就労の促進  30.3％ | 障がい者の地域生活についての理解の促進  30.9％ | 障がい者の地域生活についての理解の促進  25.4％ | 障がい者の地域生活についての理解の促進  36.4％ |
| ４ | 障がいについての正しい知識の普及啓発のための講演会、研修、疑似体験会等の開催  19.4％ | 地域行事への障がい者の参加を促進するなど、地域住民との交流の場・機会を増やすこと  25.7％ | 障がいについての正しい知識の普及啓発のための講演会、研修、疑似体験会等の開催  22.6% | 地域行事への障がい者の参加を促進するなど、地域住民との交流の場・機会を増やすこと  23.9％ | 障がいについての正しい知識の普及啓発のための講演会、研修、疑似体験会等の開催  34.8％ |
| ５ | 地域行事への障がい者の参加を促進するなど、地域住民との交流の場・機会を増やすこと  18.3％ | 障がいについての正しい知識の普及啓発のための講演会、研修、疑似体験会等の開催  20.6％ | 障がいの特性や障がいについての正しい知識等を伝えるリーフレットの発行  20.8% | 障がいについての正しい知識の普及啓発のための講演会、研修、疑似体験会等の開催  19.7％ | 地域行事への障がい者の参加を促進するなど、地域住民との交流の場・機会を増やすこと／障がいの特性や障がいについての正しい知識等を伝えるリーフレットの発行  24.2％ |

⑦ 市に望む施策　P.125

充実させるべき障がい者施策（身体・知的・精神・難病・発達）

身体障がい者では「障がい者が利用しやすい道路や公共施設などのバリアフリーの推進」が26.3％、知的障がい者では「グループホームなどの住まいの場の充実」が34.4％、精神障がい者では「就労支援（就労・生活支援センターほっとなど）の充実」が27.5％ともっとも高くなっています。

また、難病等の方では「保健・医療、福祉、教育の連携と一貫した支援」が26.1％、発達障がいの方では「ライフステージ（入学、卒業、就職など）で途切れることのない一貫した支援」が68.2%ともっとも高くなっています。

【充実させるべき障がい者施策（対象別上位５回答）】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 身体障がい者  n=819 | 知的障がい者  n=218 | 精神障がい者  n=265 | 難病等の方  n=142 | 発達障がいの方  n=66 |
| １ | 障がい者が利用しやすい道路や公共施設などのバリアフリーの推進  26.3％ | グループホームなどの住まいの場の充実  34.4％ | 就労支援（就労・生活支援センターほっとなど）の充実  27.5％ | 保健・医療、福祉、教育の連携と一貫した支援  26.1％ | ライフステージ（入学、卒業、就職など）で途切れることのない一貫した支援  68.2％ |
| ２ | 災害時や緊急時の支援体制の充実  25.2％ | 災害時や緊急時の支援体制の充実  28.0％ | 障がいを理由とする差別の解消の推進／障がい者のための身近な相談支援体制の充実・機能強化（地域生活支援センターあさやけ、地域自立生活支援センターひびきなど）  23.0％ | 障がい者が利用しやすい道路や公共施設などのバリアフリーの推進  21.8％ | 放課後活動の充実  42.4％ |
| ３ | 保健・医療、福祉、教育の連携と一貫した支援  20.1％ | ライフステージ（入学、卒業、就職など）で途切れることのない一貫した支援  22.9％ | 災害時や緊急時の支援体制の充実  19.7％ | 保健・医療、福祉、教育の連携と一貫した支援  40.9％ |
| ４ | 補装具の利用支援や日常生活用具の給付の充実  17.8% | 日中一時支援、短期入所など介助者（家族や親族）への支援の充実  22.0% | 就労に向けた訓練の充実  21.1% | ライフステージ（入学、卒業、就職など）で途切れることのない一貫した支援／就労支援（就労・生活支援センターほっとなど）の充実  17.6％ | 療育（言語訓練など）の充実  37.9％ |
| ５ | 障がいの特性に応じた情報提供の整備・充実  14.2％ | 外出時の移動に関する支援の充実  21.6％ | 保健・医療、福祉、教育の連携と一貫した支援  40.9％ | 就労に向けた訓練の充実  33.3％ |